

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-03-01-06
事務事業名	備前焼振興事業		根拠法令・要綱等
事業開始年度	S46~		問合せ先
総合計画	大項目	もてなしの心とたくましさあるまちづくり	担当課(室)
	中項目	個性あふれる観光のまちづくり	職・氏名
	小項目	施策 観光	電話
			64-1832(274)

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	観光関係団体、観光客など
目的(何のために)	全国に誇れる備前焼を観光看板として全国展開し、観光振興による産業の活性化と人口増を促すとともに、日本の伝統美術の伝承と歴史的な財産の保存のため。
行政活動(どのような方法で)	備前焼の紹介と観光情報センター機能を備えた備前焼伝統産業会館の管理運営、備前焼の振興と観光客誘致のための備前焼まつり等への補助。六古窯サミット事業、伝統的工芸品産業振興協会への加盟(負担金)。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	備前焼伝統産業会館等の利用者増

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	伝統産業会館入館者	人		35,259	33,483	30,771
	陶芸美術館入館者	人		19,812	18,602	17,094
	まつり来場者	人		120,000	150,000	160,000
	備前焼まつり補助金	千円		1,800	2,000	2,000
	備前焼陶友会補助金	千円		405	405	405
事業費	直接事業費	千円		13,159	4,121	4,486
	人件費	千円		1,708	2,399	2,402
	事業費計			14,867	6,520	6,888
財源	国県支出金					
	受益者負担	千円				
	一般財源			14,867	6,520	6,888
	必要人員	人		0.20	0.32	0.34
結果指標	結果指標名	単位		平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
			説明			
	結果指標量	人		55,071	52,085	47,865
	対前年比	%		-	94.6%	91.9%
	活動コスト	円		14,867,000	6,520,000	6,888,000
結果指標	結果指標量	人				
	対前年比	%				
	活動コスト	円				
	単位当たりコスト	円		270	125	144

事業の成果			
成果指標名	備前焼伝統産業会館等の利用者	式又は説明	観光動態調査による推計
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	55,071	52,085	47,865
対前年比		94.58%	91.90%
到達目標値	70,000	到達目標年度	平成22年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	C
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	効率性評価<A-E>	C
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
職	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求め職場内で改善している		
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	有効性評価<A-E>	C
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	多様化する顧客のニーズに対応するため、可能な限り施設整備を行うことを検討する必要がある。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	50,000	結果指標量
	成果指標量		70,000

総合評価		評価区分<A-E>	C
わが国を代表する伝統工芸品である備前焼を、伝承・普及するための施設管理運営及びイベントによるアピールの事業効果は高いと思われるが、伝統の上にあぐらをかくのではなく、顧客の満足度を研究し、ニーズにあった方向性を的確に捉える必要がある。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 平成20年度で真正・完了
	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	観光客の多様化するニーズを敏感につかむ。	随時	観光客の増加

